

令和6年度 学校教育アンケートのまとめについて

早春の候、保護者の皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。平素は本校教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、先日実施いたしました学校教育アンケートにおいて、265件のご回答をいただきました。ご回答いただきました保護者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

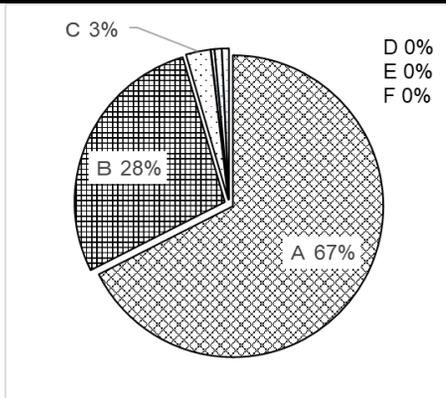
つきましては、アンケートの集計が整いましたので、結果をお知らせいたします。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度の本校の取組みにいかしてまいりたいと考えております。今後も、学校教育や児童の指導等でお気づきの点がございましたら、学校までお知らせいただけますと幸いです。ご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

集計結果は、以下のよう示しております。

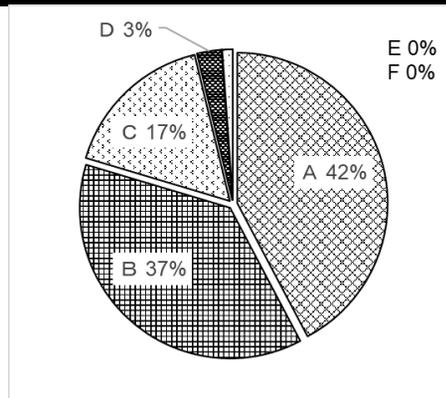
A.: と思う B.: だいたいと思う C.: あまりそう思わない D.: そう思わない E.: わからない F.: 無回答

(1) 家庭教育に関すること

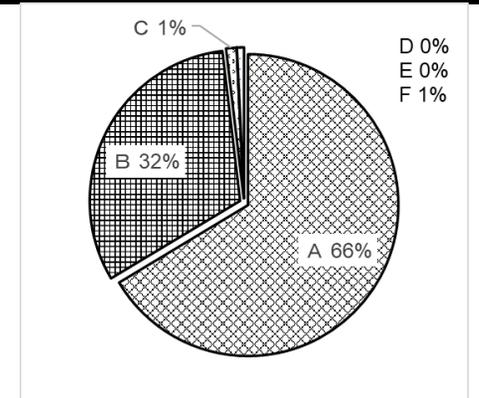
1. 子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている。



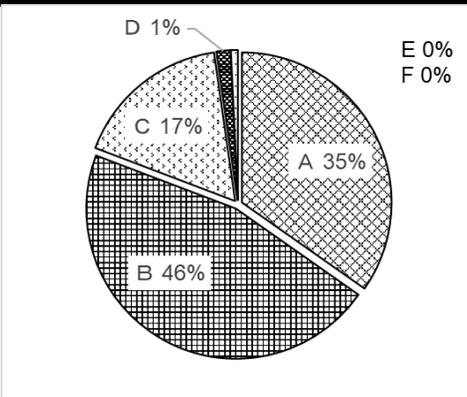
2. 子どもに家庭学習の習慣をつけさせている。



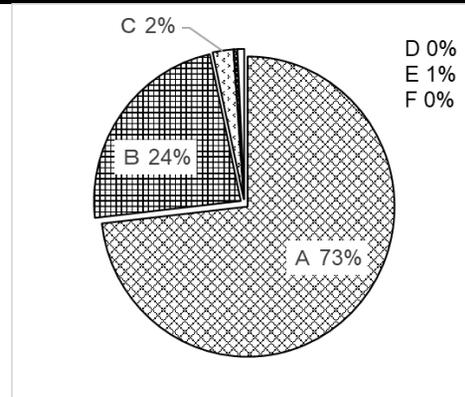
3. 家庭では、子どもとの会話を大切にしている。



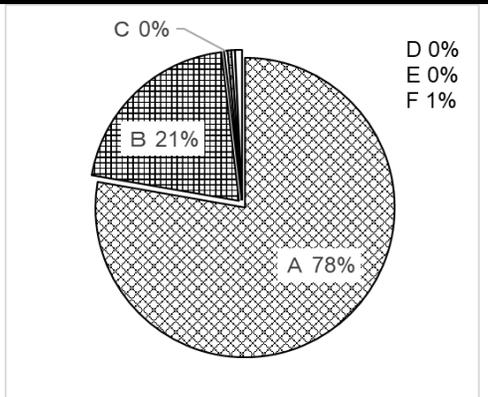
4. 家庭では、子どもにお手伝いをさせている。



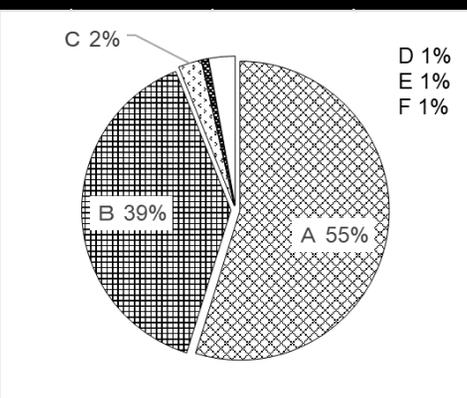
5. 家庭では、子どもに生命を大切にする心を育てようとしている。



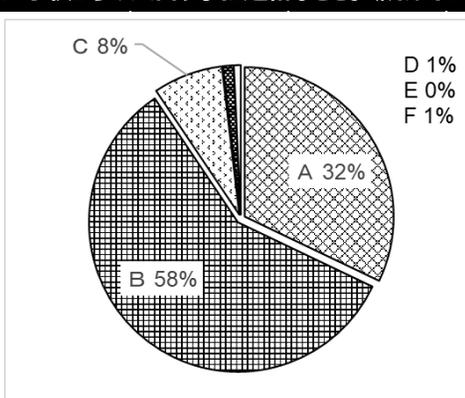
6. 家庭では、子どもに自分や友だちを大切にする心を育てようとしている。



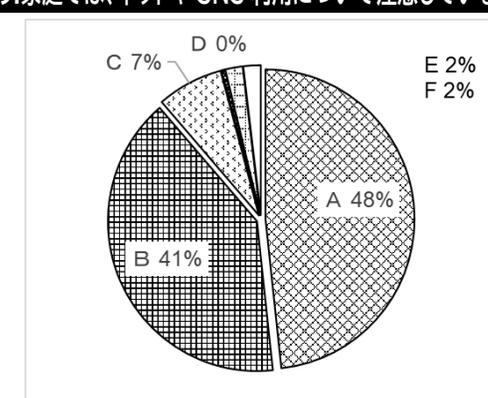
7. 家庭では、子どもに社会のルールを年齢に応じて教えている。



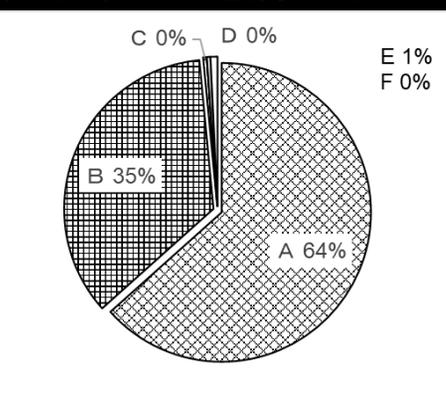
8. 学校からの文書や事務連絡などをよく読んでいる。



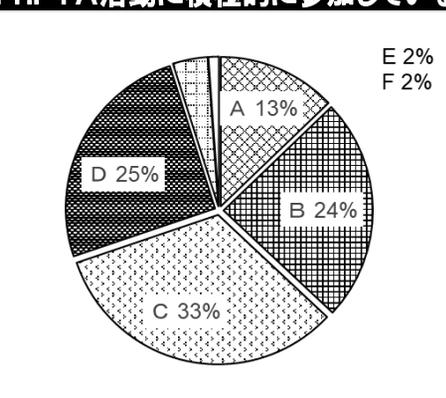
9. 家庭では、ネットやSNS利用について注意している。



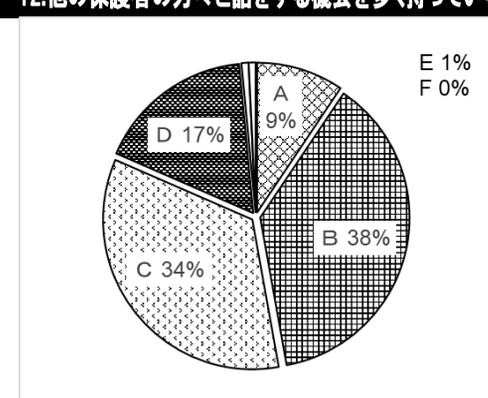
10. 家庭では食事・歯磨き・睡眠の生活習慣を身に着けさせている。



11. PTA活動に積極的に参加している。



12. 他の保護者の方々と話す機会を多く持っている。



●家庭教育についてのアンケート結果より●

全体的に、ほとんどの項目において、肯定的な回答(集計結果におけるAもしくはB)が、令和5年度のアンケート結果とほぼ同じく高い割合となっていました。学校運営協議会では、子どもたちを取り巻くネットやSNSの悪影響について、たくさん議論をかわしました。学校教育と家庭教育の課題をもとに年間数回の協議をし、地域の力で学校教育と家庭教育を支援してくださっています。今後も学校と家庭と地域がいっしょになり、子どもたちの健全な未来を支援していきたいと考えています。

『1. PTA 活動に積極的に参加している』・・・【肯定的回答】R5:39% → R6:37%

『2. 他の保護者の方々と話をする機会を持っている』・・・【肯定的回答】R5:41% → R6:47%

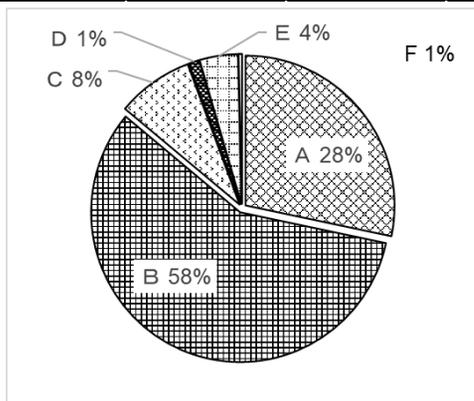
PTA 活動に関する2項目のうち、PTA 活動の参加についての肯定的回答は昨年度とあまりかわらないものの、保護者の方々と話をする機会における肯定的回答は増えています。今年も昨年同様、PTA 役員のみなさまを中心に、PTA がつながる活動をたくさん実施してくださっています。例えば、はぐくみ隊活動が地域主体から PTA 主体に変わり、多くの PTA の方が掲示物の製作に関わったり、ベルマーク活動でも、当日参加してくださったボランティアの方と一緒に作業しながら、保護者がお話をされたりする様子が伺えます。

共働き世帯など、なかなか PTA 活動に参加できないご家庭も多いかと思います。しかし、家庭教育活動(PTA 活動を含む)や地域行事が活発な地域で育つ子どもは、自主的・自発的に異なる世代の人々とふれあえる場があり、子どもたちは、社会性や豊かな人間性をはぐくんでいきます。今年、地域の健全育成会が主催したもちつき大会には、多くの保護者の方のお手伝いがありました。校門開放で子どもの様子を見に来たり、花植え活動に参加したりするだけでもかまいません。PTA 活動や地域行事に対するちょっとした協力により、地域と保護者が一体となることが、子どもたちの育ちにつながります。

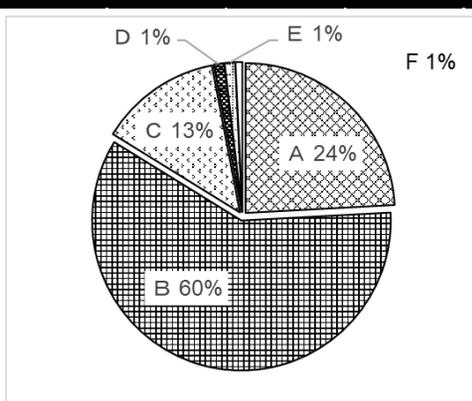
子どもたちのために今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 学校教育に関すること

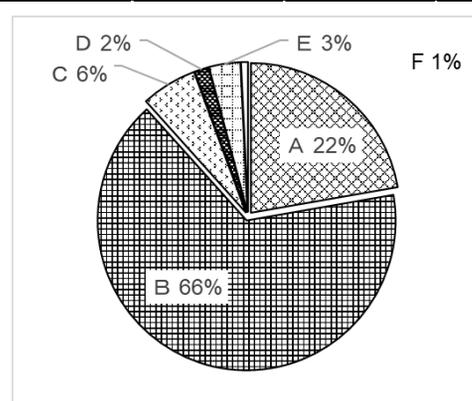
1. 学校は、保護者・地域との連携を大切にしている。



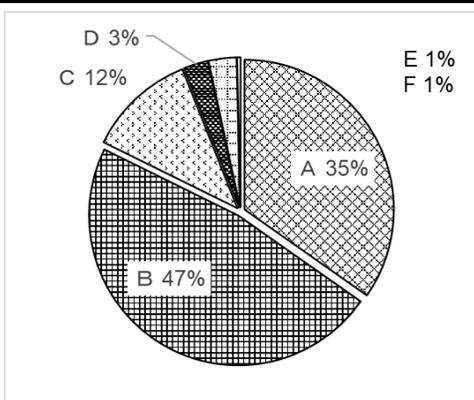
2. 学校は、教育活動や学校での子どもの様子について伝えている。



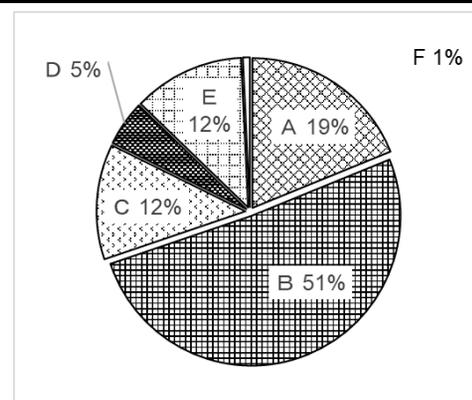
3. 学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。



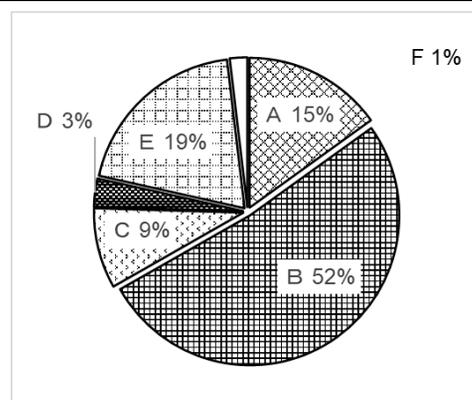
4. 学校に、子どものことについての相談ができる。



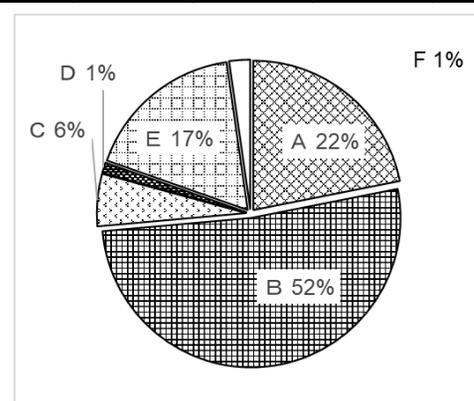
5. 学校は、子どもの不正な言動には厳しく指導している。



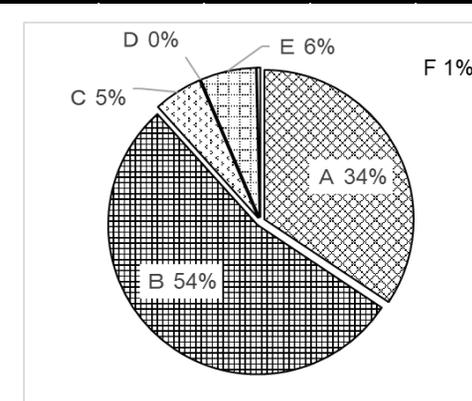
6. 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。



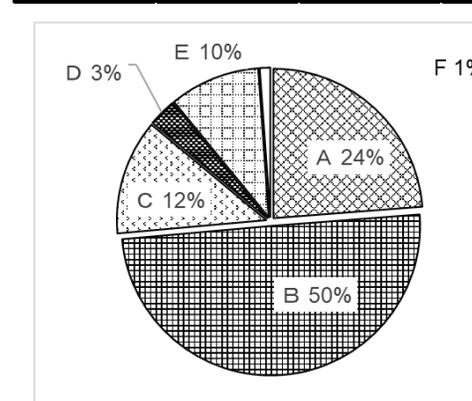
7. 学校は、学年に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



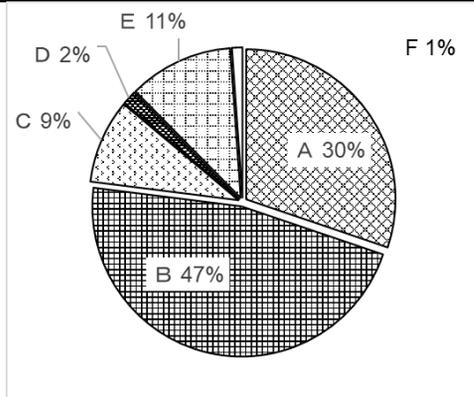
8. 学校は、地震・火災・台風・不審者などに対する危機管理を適切に行っている。



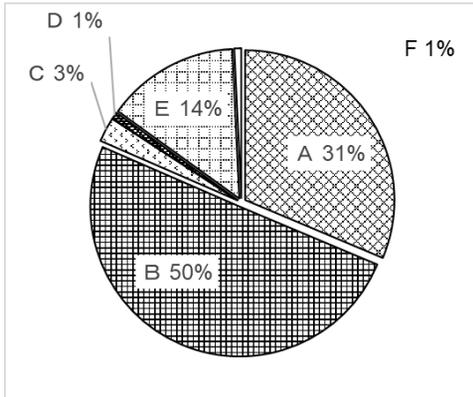
9. 学校は、登下校時の安全についての指導をしている。



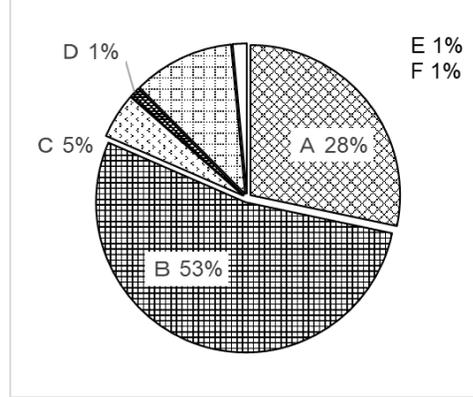
10. 学校は、食事の重要性や食文化など食に関する指導に取り組んでいる。



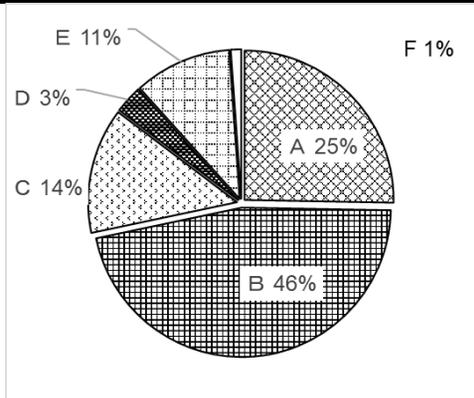
11. 学校は、児童の個人情報適切に管理している。



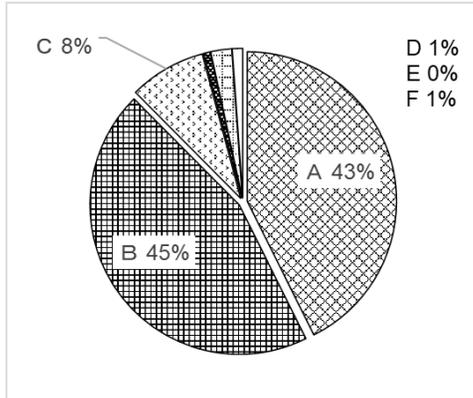
12. 学校は、保健教育・保健管理に適切に取り組んでいる。



13. 学校は、ICT 機器を活用し学習を効果的にしたり、学びの保証に役立てたりしている。



14. 学校は、テトルや HP を活用し情報提供に努めている。



お忙しい中、アンケートに丁寧にご回答いただき、ありがとうございました。全項目について、肯定的な回答が多く、学校での取組みにご理解をいただいていることに感謝申し上げます。

自由記述欄にも、多くのご意見をいただきました。アンケート結果及びいただいたご意見を謙虚に受け止め、来年度も「だれもが元気になるみんなの学校」をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、長野小学校の子どもたちのために、どうぞよろしくお願い致します。



● 学校教育についてのアンケート結果より ●

『5. 不正な言動には厳しく指導している』・・・【否定的回答】R5:14% → R6:17%

『6. 学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる』・・・【否定的回答】R5:9% → R6:12%

昨年度より否定的回答の割合が増えました。学校では「いじめは絶対にあってはならないが、起こりうるものなので、子どもたちの様子を注視してできるだけ早い対応を心がけていく。」と意識し、相手を傷つける言動には特に厳しく指導し、日々取り組んでいます。子どもたちはまだまだ未熟なところも多く、ちょっとした言動で友だちを傷つけてしまうこともあります。だからこそ学校では、相手の気持ちを考え、周りの人に対して思いやりの気持ちをもった言動ができるよう指導を続けています。自由記述における教員の言葉遣いについてのご指摘については、真摯に受け止めながらも、子どもへの指導の際は、具体的に何が悪かったかを明確に伝え、子どもが納得し、前に進んでいけるようにしていきます。また、これからも学級担任だけで抱え込むことなく、学年や学校全体で情報を共有し、迅速に対応することを心がけ、いじめのない学校づくりに取り組んでいきます。

『8. 学校は地震・火災・台風・不審者などに対する危機管理を適切に行っている』・・・【肯定的回答】R5:84% → R6:88%

わずかですが、肯定的回答が増えました。令和6年度は2学期に地震の避難訓練をした際、その後の保護者への引き渡しを想定した取組みを10分程度行いました。保護者の方にイメージをつかんでもらえたことはもちろんですが、職員としても、よりスムーズで確実な引き渡しとするための課題が見つかったことが成果でした。また、3学期の火災の避難訓練では、休み時間中の避難を実施し、混乱が起ころうとあり、かつ、人数把握に時間がかかりそうな状況においても、子どもたちの安全を守るよう取り組みました。他にも、不審者対応として、たくさんの保護者が来校する学校行事において、門を開放する際は、PTA 学年委員さんの受付のお手伝いを依頼したり、夏休みの作品展のような長時間開放する際には、北門から直接校内に侵入できないようにシャッターを閉めたりする工夫もしています。子どもたちをあずかる以上、安全には十分気を配り、今後も対応していきます。

『13. 学校は ICT 機器を活用し、学習を効果的にしたり、学びの保障に役立てたりしている』・・・【肯定的回答】R6:71% (R5は未実施)

本校教員におこなった同じ項目の質問の結果では、85%の教員が肯定的な回答となっています。昨年、本校ではインフルエンザの流行により学級閉鎖を2度行った学級もありました。そのため今年は、そういった状況になっても、どの教員も ICT 機器を活用し、オンラインで少しでも学習をすすめられるよう準備をすすめてきました。今年は、学級閉鎖が起ころうな様子はありませんでした。次年度も引き続き様々な事態に備え、ICT機器を学びの保障に役立てたいと考えています。

自由記述では、保護者への連絡配信や配付物のデータ送付ツールとして活用しているテトルの有効な活用の仕方について、多くのご意見がありました。令和6年度のデータ送付については、学校だよりを中心に限定的に活用し、基本的には紙で印刷したものを配布してきました。学校からの連絡物を紙からすべてテトルとしてしまうことで、重要な情報が埋もれてしまう危険性を危惧していたためです。一方でデータ配信にすることは、単に紙の使用削減だけでなく、カラーで確認できたり、外出先でもスマホがあれば確認できたりするといった良さもあります。また、フォームを使ったアンケートや各種申し込みの回収も、学校として簡単に整理することができ非常にありがたかったです。この学校教育アンケートの QR コードによる回答についても、今後も継続させていきたいと考えています。保護者のみなさまのご意見もふまえ、来年度は、保護者のみなさまが確実に見てもらえる量を基本としつつも、もう少し活用の幅を広げてみたいと考えています。

来年度も学校教育に対するご理解ご協力よろしくお願いします。